

▶決勝

前橋商	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
健大高崎	1	0	0	0	1	0	2	1	×	5

健大

栄冠

第106回
全国高校野球群馬大会

春夏連続で甲子園



第106回全国高校野球選手権群馬大会は27日、前橋市の上毛新聞敷島球場で決勝を行い、今春の選抜甲子園大会で優勝した健大高崎が5-1で昨夏の群馬大会を制した前橋商に勝利し、2015年以来9年ぶり4度目の夏の甲子園出場を決めた。健大高崎は群馬県勢初の甲子園春夏連覇を狙う。

健大高崎は初回到箱山遥人の犠飛で先制。同点の五回は箱山の犠飛で勝ち越した。七回に連続押し出し死球で2点を追加し、八回は田中陽翔が右翼へソロ本塁打を放った。先発石垣元気は6回1失点と好投。七回からは佐藤龍月が登板し、試合を締めた。

前橋商は四回に小池絆の右翼へのソロ本塁打で追い付いたが、その後は打線がつかえず。2年連続の甲子園出場はならなかった。

全国選手権大会は8月4日に組み合わせ抽選会が行われ、7日に開幕する。

優勝を決め、喜びを爆発させる健大高崎ナイフ
上毛新聞敷島